

消したはず  
決めつけしないで  
もう一度

ろく ばん まどい  
**六 番 纏**

発行者  
辰野町消防団  
第6分団  
発行人  
宮沢克典



第六・七分団合同模擬火災訓練の様子



ご挨拶

分団長

宮沢克典

平成二十四年の輝かしい新春を迎え区民の皆様にご挨拶申し上げます。三区の皆様におかれましては平素より当分団の活動に對しまして深いご理解、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、昨年度を振り返ってみますと町内では行方不明者捜索、管内では土手の火災出動などが発生し火災の怖さ、消防団活動の厳しさを身を挺して感じた次第です。

平成二十三年三月十一日 十四時四十六分皆さんもご存知の通り東北地方を震源とするマグニチュード九・〇の観測史上最大規模の地震が発生しました。

場所によっては波高十メートル以上、最大遡上高四十・五メートルもの津波が押し寄せ町、人、財産を奪い去って行き、私たちが考えられないほどの災害となりました。また長野県北部を震源とする地震も発生し、多くの被害を受けた事は記憶に新しい所で御座います。

私たちが住む辰野町では津波に対して程遠い世界の話ですが、平成十八年におきました豪雨災害が脳裏に甦る次第です。当時の辰野町でも二百ミリを超える断続的な雨に見舞われ多くの被害が発生しました。

「災害は忘れた頃にやってくる」とよく言われますが正にその通りであります。

消防団も「火消し」が主な活動となっておりますが、この異常気象の中我々消防団も災害を想定した訓練も活動の一部として考えていかなければならない時代になって来たと感じさせられる次第で御座います。

第六分団としても常日頃からの訓練を通じ知識の向上、消防技術、救急法の取得に務め地域と密着した消防団活動を行なう参りたいと思っております。

地域の皆様の絶大なご理解ご協力をお願い申し上げます。

結びに区民の皆様のご繁栄とご健康をお祈り申し上げます。本年が災害の無い穏やかな年であることを祈りながら新年のご挨拶とさせていただきます。

六分団ホームページ

<http://www.lcv.ne.jp/~rokubun>



## 模擬火災訓練実施

火災が発生した場合に素早く対応できるように、住宅火災や山林火災を想定した訓練を行っています。また、ポンプ車や機械器具の取り扱いについての講習を実施し、有事の際に対応できるように活動しています。



模擬火災訓練模様



機関講習模様

## 第六分団本年度の成績は!!

ポンプ車の部  
町大会 6位

小型ポンプの部  
町大会 優勝!!

ラッパ吹奏の部  
町大会 7位



記司 大弥人一  
和 延新隼聡  
谷本 田林村口  
中山 松小野溝  
者員 員員員員  
揮番 番番番助  
指 1 2 3 4 補

也樹 希文 猛  
卓夏 侑 祥  
田賀 垣 保 坂  
松有 稲久 有  
者員 員員員員  
揮番 番番助  
指 1 2 3 補

真明 行二 彦友 明 紗  
孔 伸 浩 正 和 智 有  
村 谷 藤 賀 賀 戸 賀 泉  
古 中 伊 有 有 瀬 有 中  
者 手  
揮 選

## 地震が起きたら

地震の大きな揺れは、長くても1分程度でおさまると言われています。あわてて外へ飛び出すと瓦や窓ガラス、看板などが落ちてきてケガをする場合があります。

揺れている時は、落ちてくる物や倒れてくる物から身を守ることが大切です。座布団やかばんなどで頭を保護したり、丈夫な机やテーブルなどの下に身を隠しましょう。

外出先で地震にあったら、先ず身の安全を確保し、あわてず係員や乗務員の指示に従ってください。

地震で一番恐ろしいのは火災です。使用中のガス器具、ストーブなどはすばやく火を消しましょう。避難する時は、ガスの元栓を締め、電気のブレーカーを切り、戸締まりなどを確認し、隣近所で声を掛けあって避難しましょう。

また、自動車は使わず、家族一緒に必ず徒歩で避難しましょう。特に、高齢者・障害者・子どもには、地域で協力し、手助けしましょう。



非常持ち出し品リストを右に掲載しましたので参考にしてみてください。



### 非常持ち出しリスト

非常持ち出し袋 置き場所を決め、半年に一度は点検

- 懐中電灯(電池) できれば防水、電池の予備も
- ロウソク・マッチ・ライター ロウソクはなくて短いもの
- 携帯ラジオ(電池) 正確な情報、予備の電池も
- 飲料水 運搬用ビニールバケツ 5リットル程度(多いと重く運べない)
- 缶入りカンパン、缶入り飲料水 保存期間(カンパン5年、水3年)
- 固形燃料、携帯コンロ 最低限お湯を沸かせる程度
- 食器セット 紙よりアルミ食器(お湯を沸かせる)
- 缶切り、栓抜き、ナイフ 兼用タイプ一つ用意
- 軍手、タオル やけど、外傷を防ぐ
- ビニール袋(大・中・小) 雨具にも、水運びにも
- 常備薬、応急セット、ティッシュ 滅菌ガーゼ・三角巾、消毒薬など
- ロープ、レジャーシート 簡易なテントにも
- 印鑑、預金通帳、権利証書など 貴重品袋を別に用意
- 健康保険証・運転免許証コピー 普段使用のためコピーで
- 住所録、現金(小銭も) カードは使用不能、連絡用

### 緊急生活用品 防災商品、アウトドア用品、日用品

- ミネラルウォーター、簡易浄水器 ペットボトルの水は保存期間約1年
- キャンプ用ナベセット 大・中・小重ねられるもの
- 米、缶詰、インスタント食品 アルファ米など。水が不要のものも
- カセット式コンロ 予備のカセットボンベも
- 下着、靴下、身軽な服、運動靴 発汗性の良いもの、靴底は厚め
- ヘルメット(防災ずきん) 落下物から頭を守る
- 毛布、寝袋、バスタオル 防寒用。外傷から守る
- 石けん、シャンプー 水がいらないシャンプーもある
- トイレトーパー 食器の汚れ取りにも(水の節約)
- 簡易トイレ  
(シャワー用テント) 避難場所等トイレは少ない
- ランタン(ガス・電池用あり) 電池用は蛍光灯タイプも
- 防塵マスク 倒壊建物の粉塵用
- 紙おむつ 乳幼児用・老人用
- ほ乳瓶、粉ミルク、離乳食 乳幼児の必需品
- 生理用品 女性の必需品

◎約10kgにまとめる。年に数回家庭防災訓練を!

焚き火・野焼きをする場合、事前に消防署へ届出を出して下さい。電話での届けでも可能です。

TEL 0266-41-0119

焚き火をする際は、その場から離れないようにお願いします。